

宮崎県で国内11例目の 高病原性鳥インフルエンザ(疑似患畜)が発生！

12月1日、宮崎県日向市の養鶏場で、国内11例目の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。

宮崎県では今季初の発生であり、平成29年1月以来の発生となります。

【農場の概要】 農場所在地：宮崎県日向市東郷町
飼養状況：肉用鶏 約4万羽

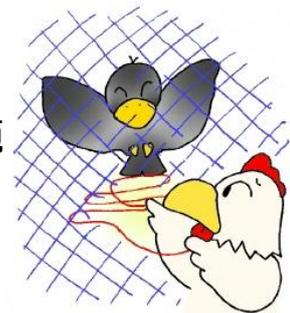
【経緯】

1 1月30日 死亡鶏が増加した旨の通報を受けて、当該農場への立入検査を実施。簡易検査を実施し陽性。

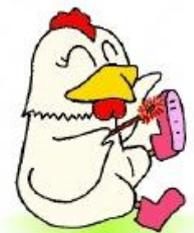
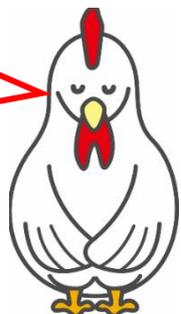
1 2月 1日 遺伝子検査を実施したところ、H5亜型であり、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

農場へのウイルス侵入防止対策を徹底しましょう

- 飼養衛生管理基準の点検と防疫対策の徹底
- 鶏舎周辺の消毒と破損個所の点検・修繕
- 畜舎に出入りする際の衣類の交換、長靴消毒の実施
- 農場に出入りする車両の消毒
- 野鳥やネズミ等の野生動物の侵入の防止



今できる対策を
確実にいき、飼養
する家きんをウ
イルスから守り
ましょう！



飼養する家きんに異常を認めた場合は、すぐに家畜保健衛生所までご連絡ください！！
電話 0233-29-1357(夜間・休日も対応)